



蜘蛛の巣を
つつきに
行くぞ！

よし
これより

私も
同行させて
いただきます

おや？
警察の方が
何用で
ござい
ましょう？



私は元々
現場派
なので

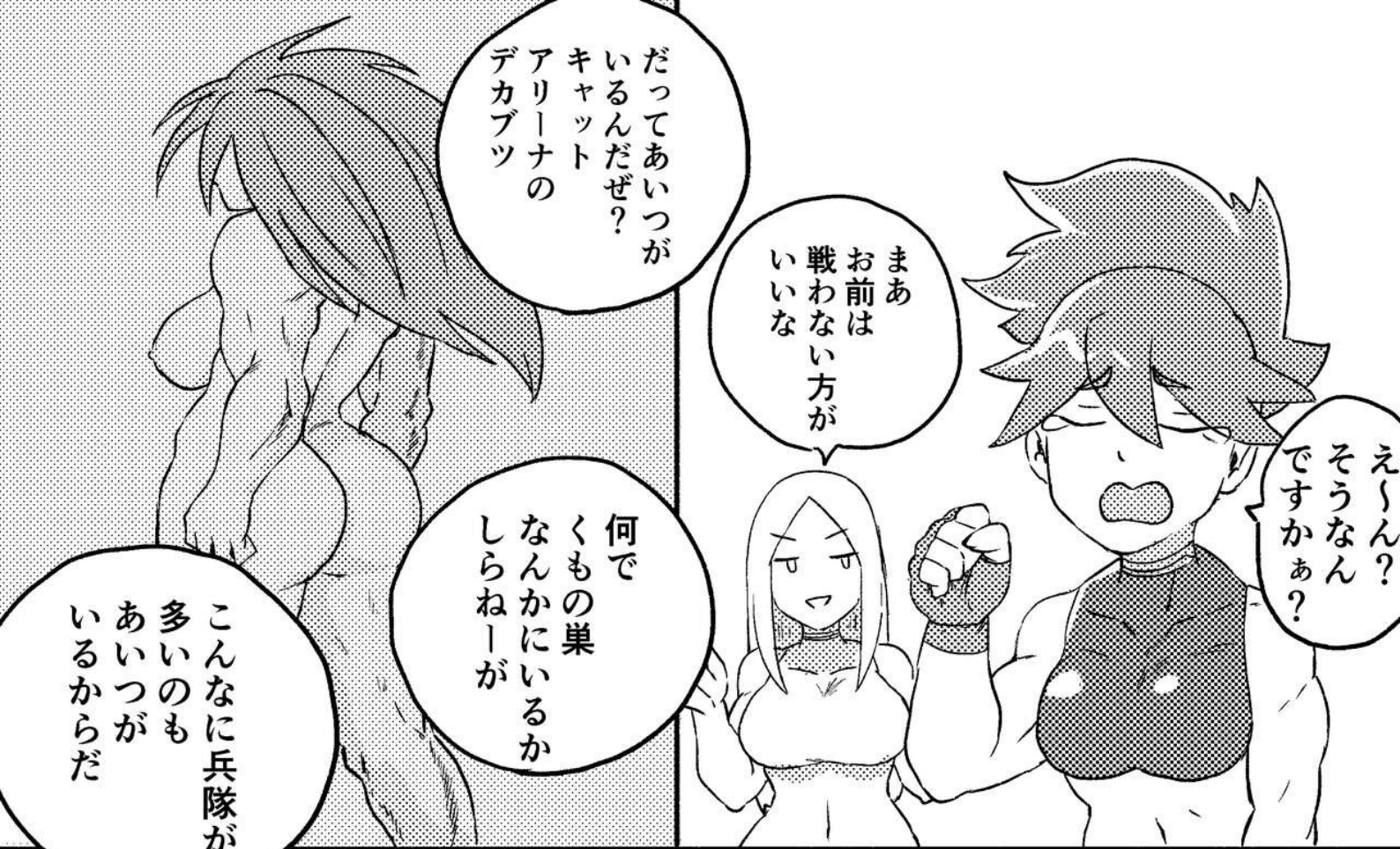
この目で
見なければ
気が
すみません
ので

殿方の命令
とあらば
なんなりと

すごい
大部隊ですね
こんなの
初めて
見ました

あ？
お前
軍用女畜
だろ





だってあいつが
いるんだぜ？
キャット
アリーナの
デカブツ

まあ
お前は
戦わない方が
いいな

えーん？
そうなん
ですかあ？

何で
くもの巢
なんかにいるか
しらねーが

こんなに兵隊が
多いのも
あいつが
いるからだ



一度ぶつけて
みて
分かったんだ

あいつ
かなり
やるぜ…

そんなに
ですか…
マイ

はい

まあ
基本は
軍隊に
まかせておけ

ほう…

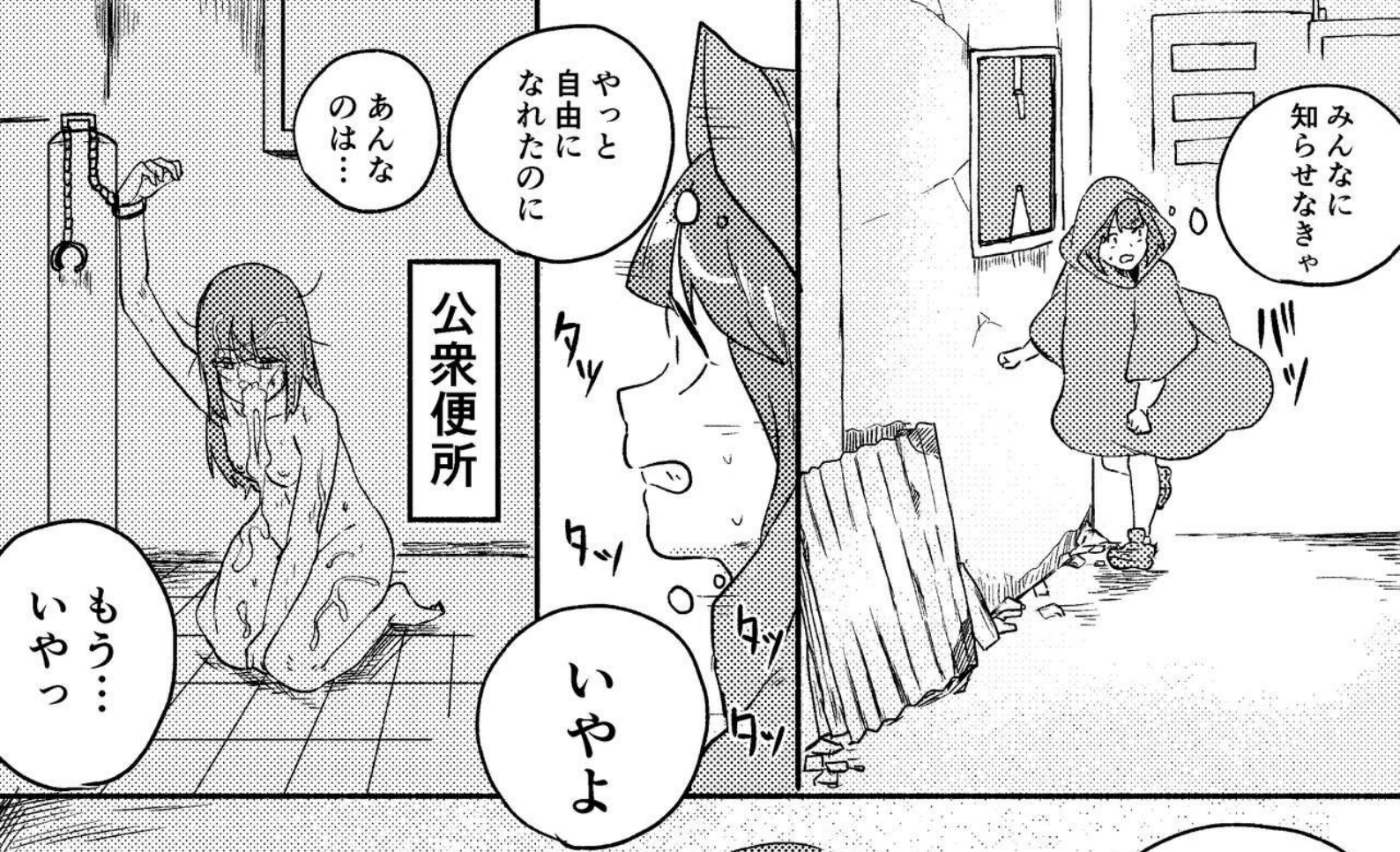


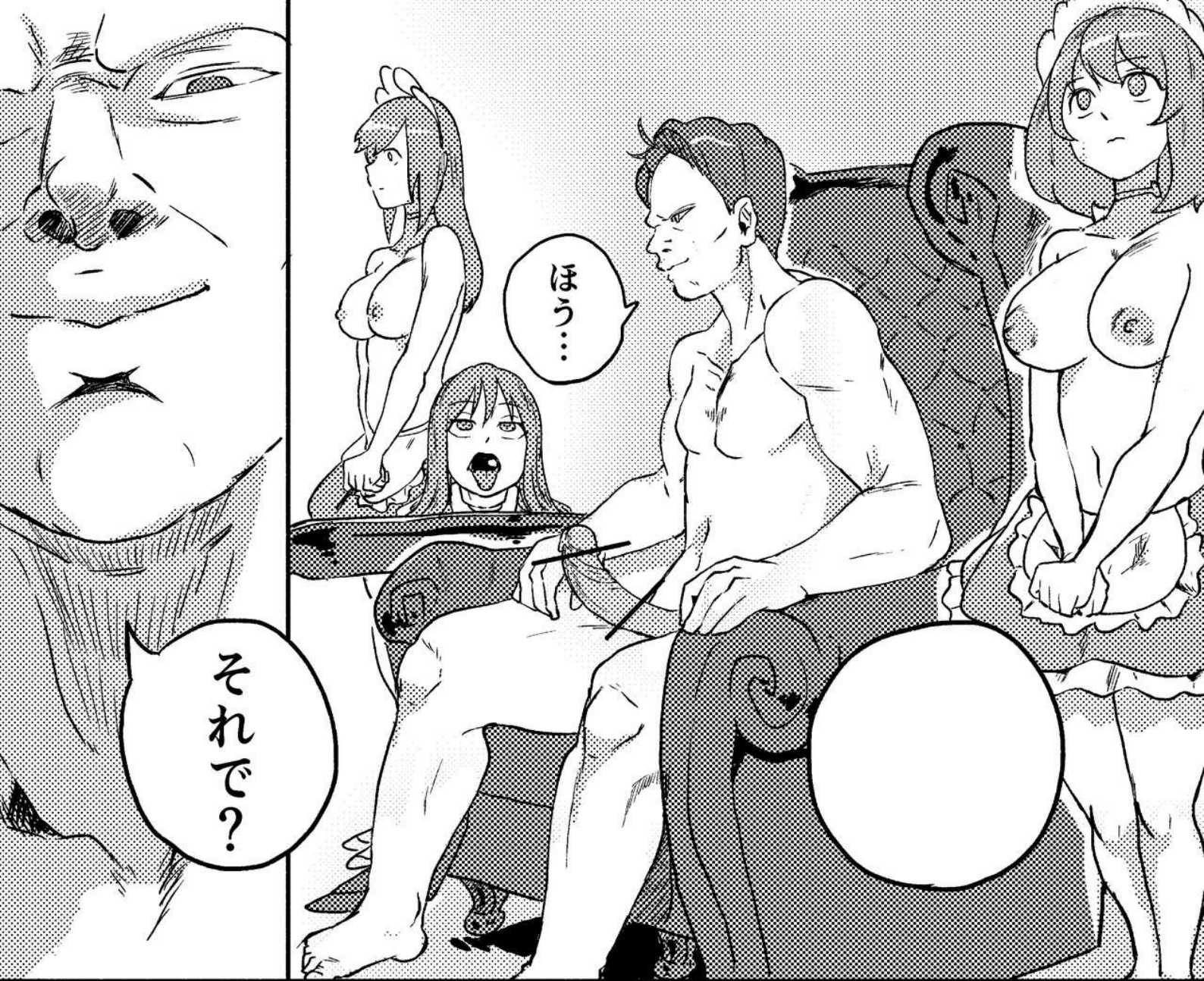
なによ
あれ…

軍隊が
あんなに

あの女畜達は
ある程度
自由を認められて
いるように
見える…

ああいう
女畜の扱い方
もあるのか…





軍のハイグレードね：
よくあの堅物が許した
ものだ

女畜の創造主のわたくしの
言う事は絶対ですわ

この世界は女畜無しでは
成り立ちませんもの

そして貴方様は
そんなわたくしの

ご主人様
ですわ ■

以前からご所望の
わたくしに限りなく近い
クローンですわ

あなた
いらっしやい

頭もよく
ご主人様のお役に
立ちますわ



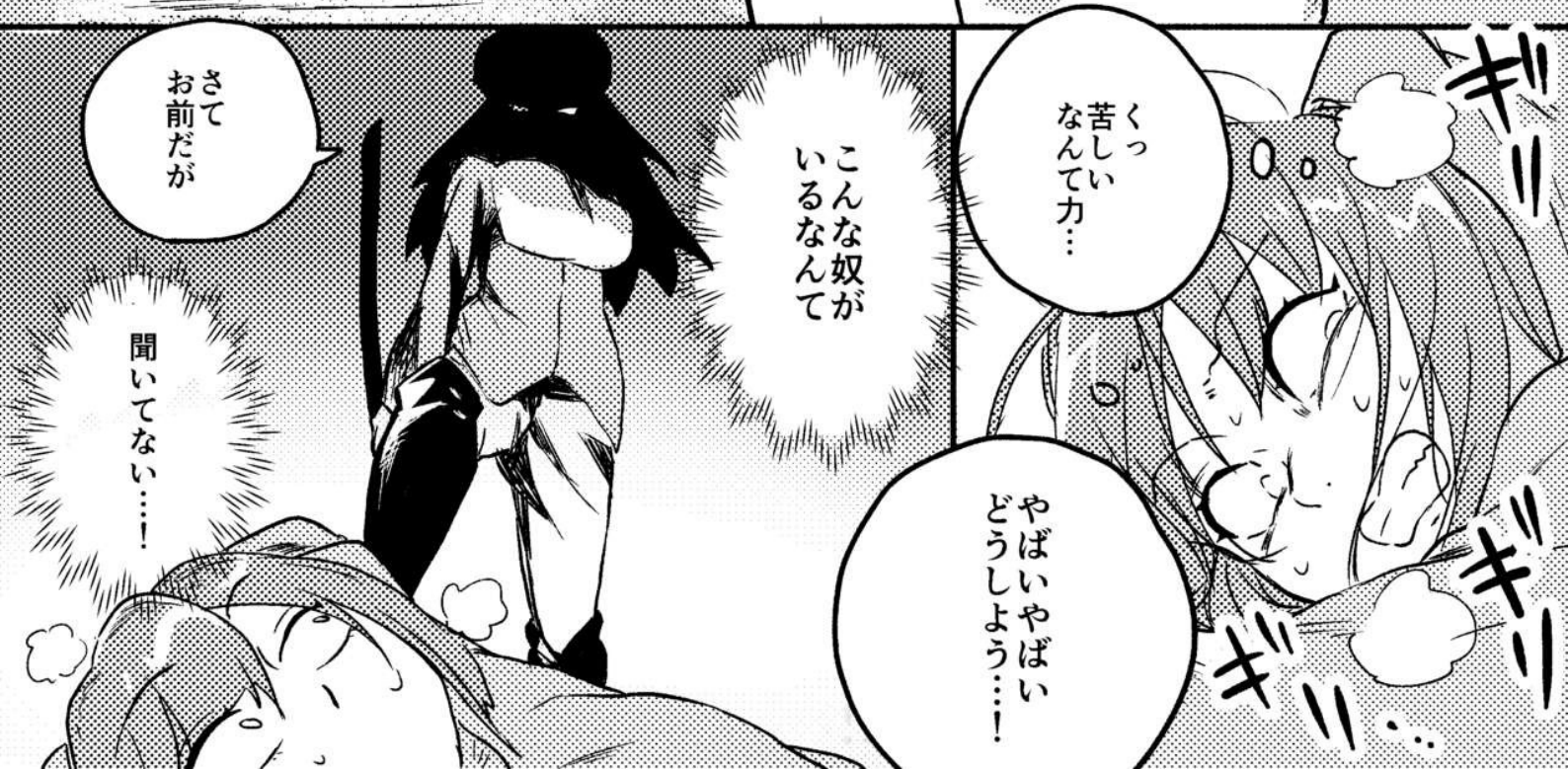


ほう、
素晴らしい…

ロオ

隊長ー！
どうされましたか？

伏兵だ！
他にも
いるかも知れんぞ！



くっ
苦しい
なんて力…

やばいやばい
どうしよう…！

こんな奴が
いるなんて

さて
お前だが

聞いてない…！

捕虜は要らぬ
との事だ



よって
この場で
処刑する

?

チャキ...

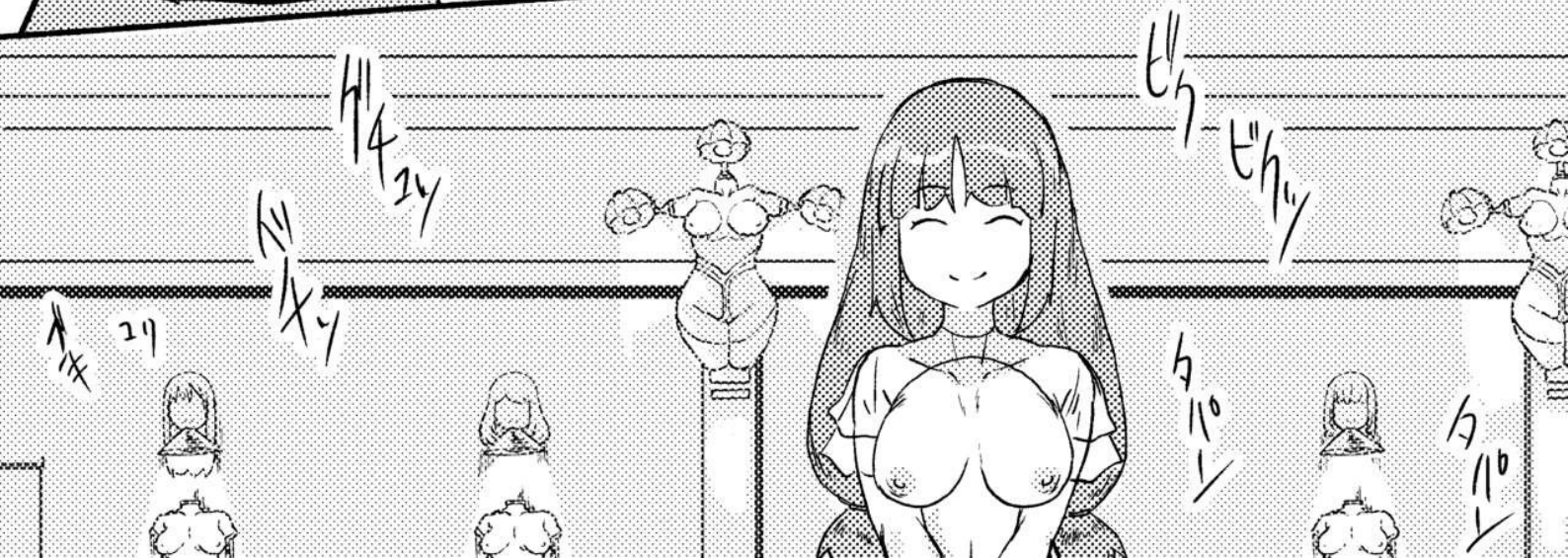
ギッ

カッ

カッ



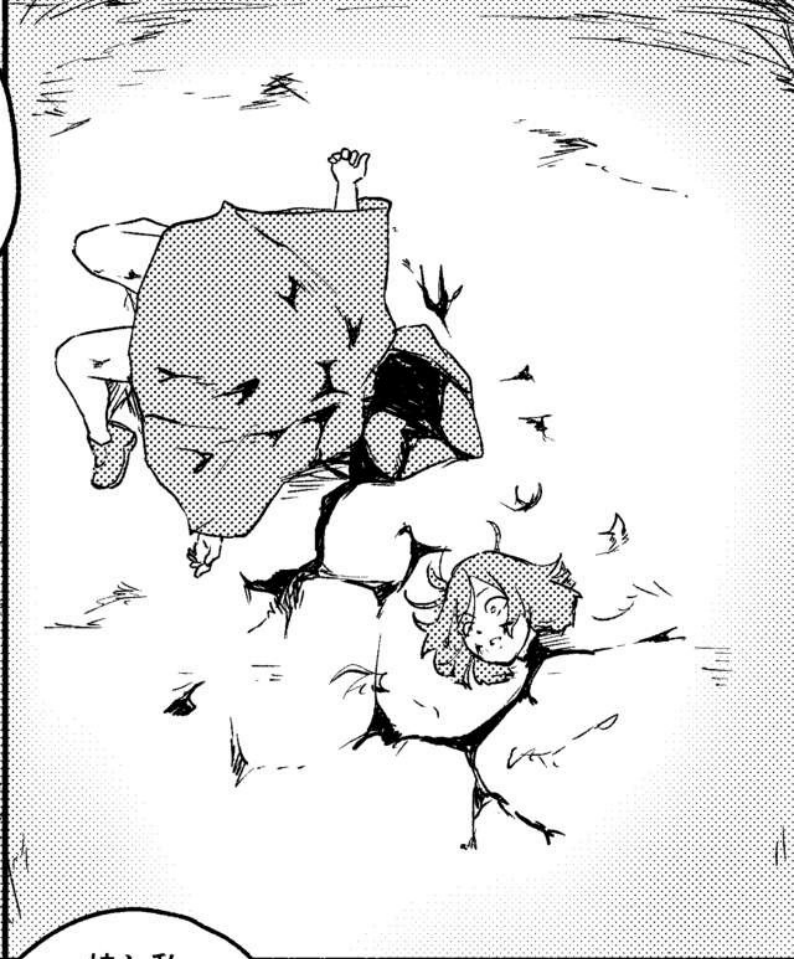
この方が
締め付けが
良いわ





こいつに
見覚えは
あるか？

...



なぜ
泣く？

私を看病
してくれてた
娘です...

私が居なく
なったからと
探しに来たんだと
思います...



殺される...

先輩...

先輩...

私のせいだ...

でも



でもやっぱり

許せないんです…

愚かだが
おそろく

こいつの言う事に
嘘偽りは無い…



どうやら
君を誤解していた
ようだ
許してくれ

あ、あの
いいんですか？

ああ！
もちろんだ！！

協力しようじゃ
ないか

より良い
男性社会の
為に！！

はい！

やはり
愛玩女畜は
頭が悪い…

でも
あの子なら…

あの子なら…

わたくしたちを
満足させて
くれる
はずですわ…

捕まっ
て殺さ
れたか
裏切っ
たか

今は
外が
気になる

居な
くな
った
二人
は一
旦忘
れよう

まだ
わか
らな
いけ
どこ
ちら
の位
置は
ばれ
てる
と思
うよ





まるで
別の誰かが

みんな
大丈夫！

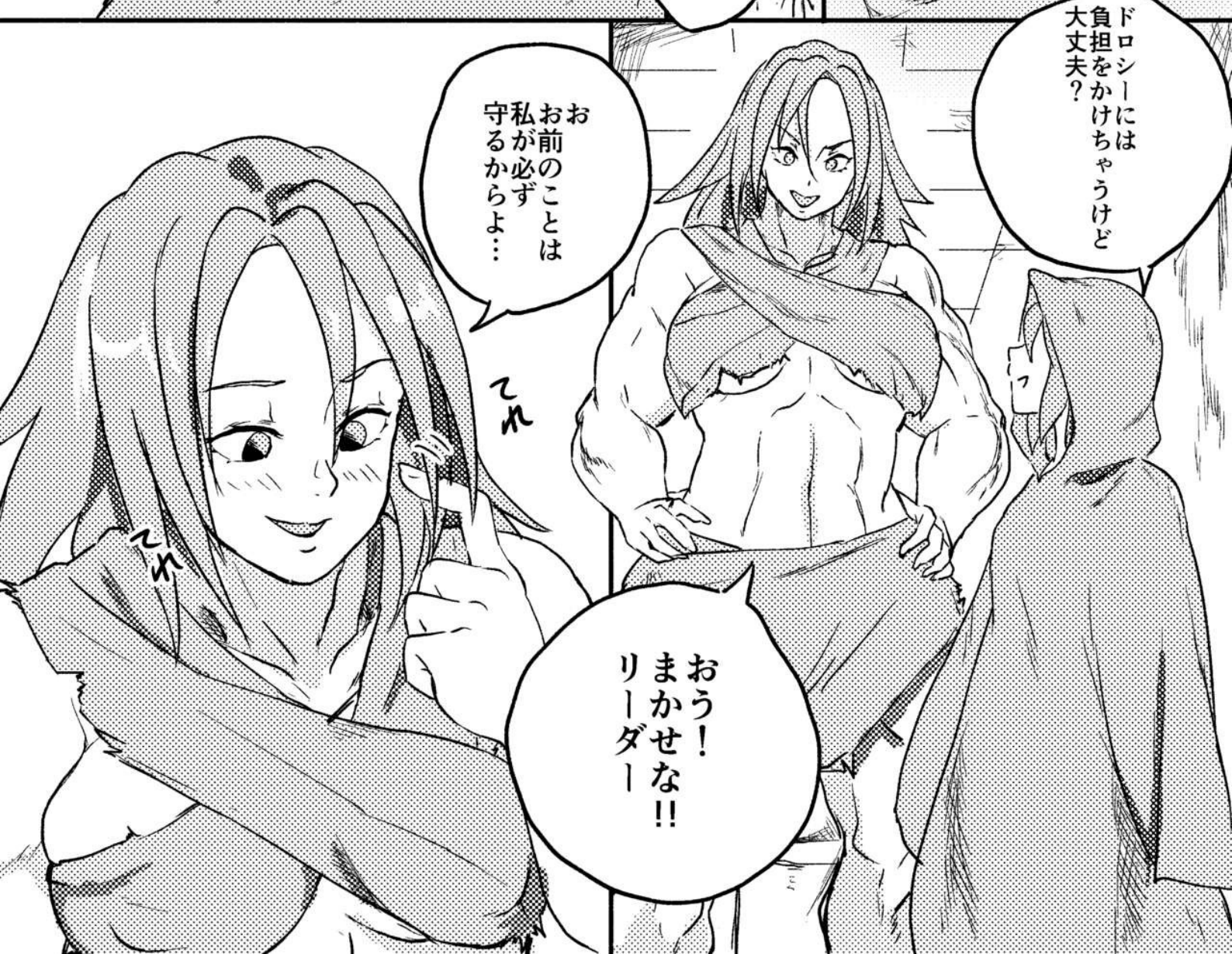
持ち場に
ついて!!

軍隊が入ってきたら
すぐに逃げて
合流！

昔の先輩
じゃない…

いこう！

乗り移って
いるかのよう…



ドロシーには
負担をかけちゃうけど
大丈夫？

お前のことは
私が必ず
守るからよ…

おう！
まかせな!!
リーダー

これ

これ

数十年前に
地下鉄道
になった

我々はこの
おびき寄せられた

ネットで堂々と
存在を明し
土地勘があり
検挙率も低い
警察ではない

世間の不安に押されて
出動するしかない
鈍重で裏をかきやすい
軍を相手にする

私の考えでは
連中のいい個体が
居る

また警察と軍の
不仲まで考えての
行動ならなお
厄介だ

左に
広がれ

こっちは
通れない

だが

改造突貫兵

連中はすぐに後悔することになるだろう！

それを見つけたらすぐに後退して報告するだけ……！

暗闇なら灯りをつけるだろうし

大丈夫
奴らの着てる装甲服はうるさい

こわいよお……

やつらが来ない……

おかしい……

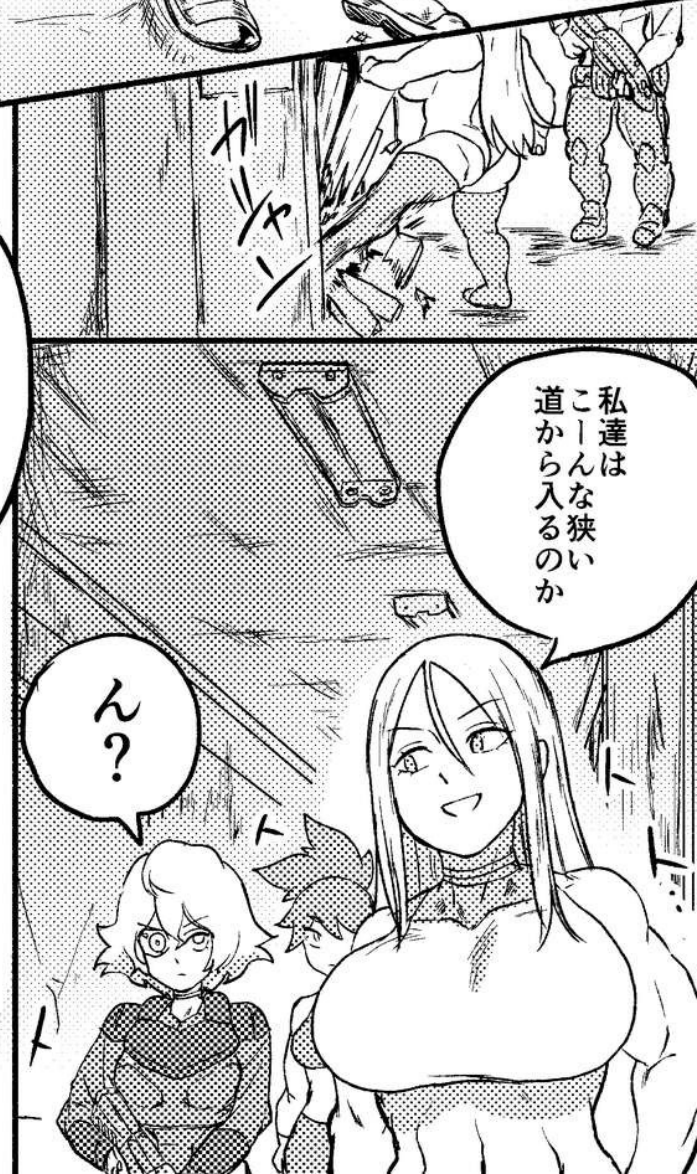


なんだ
こいつっ!!



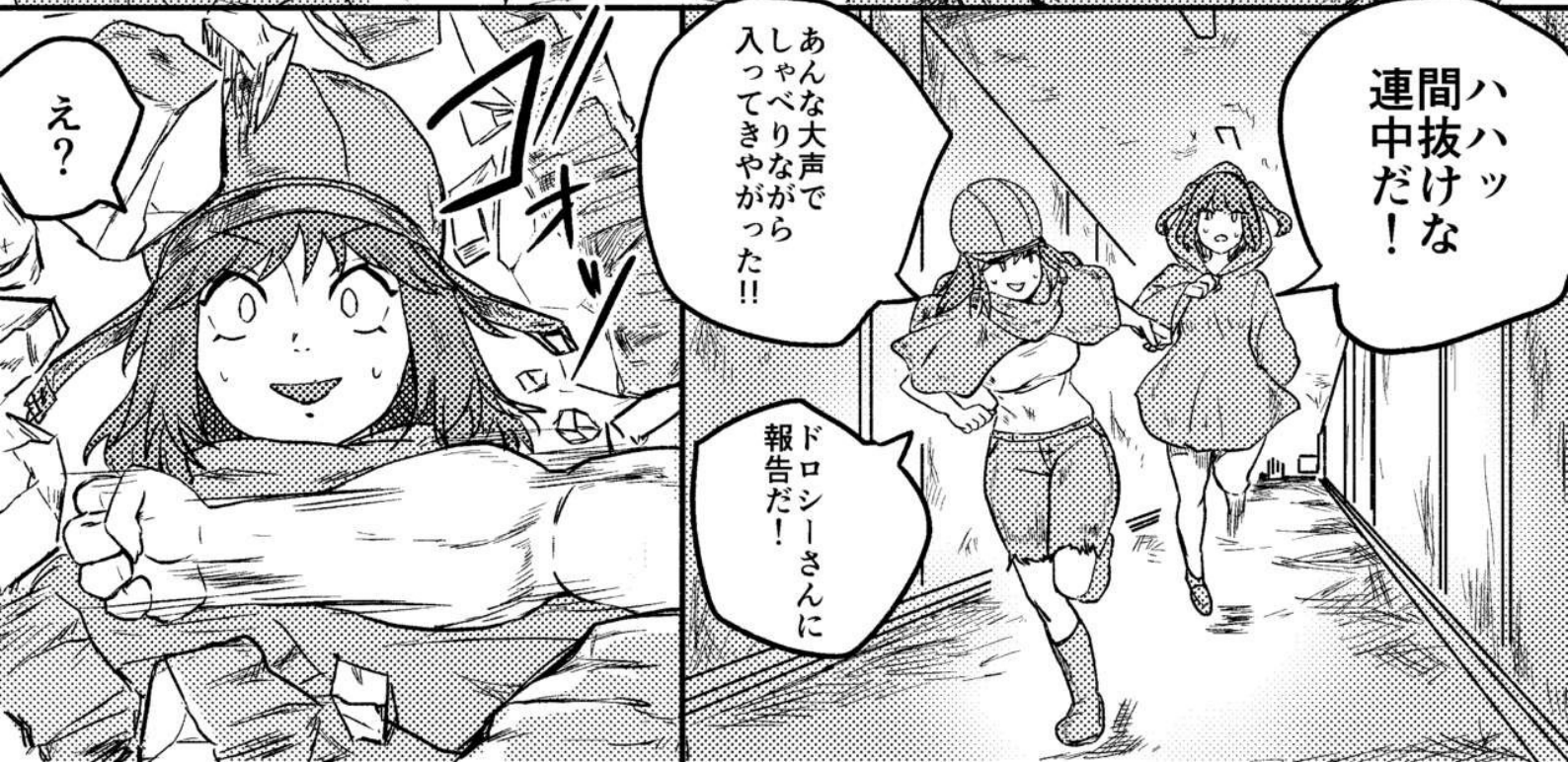
当然だ
お前達はあくまで
サポーターだ

緊急事態以外は
我々に同行してくる
だけでいい



私達は
こーんな狭い
道から入るのか

ん?





つかまえ
ましたー!!

ひぐっ

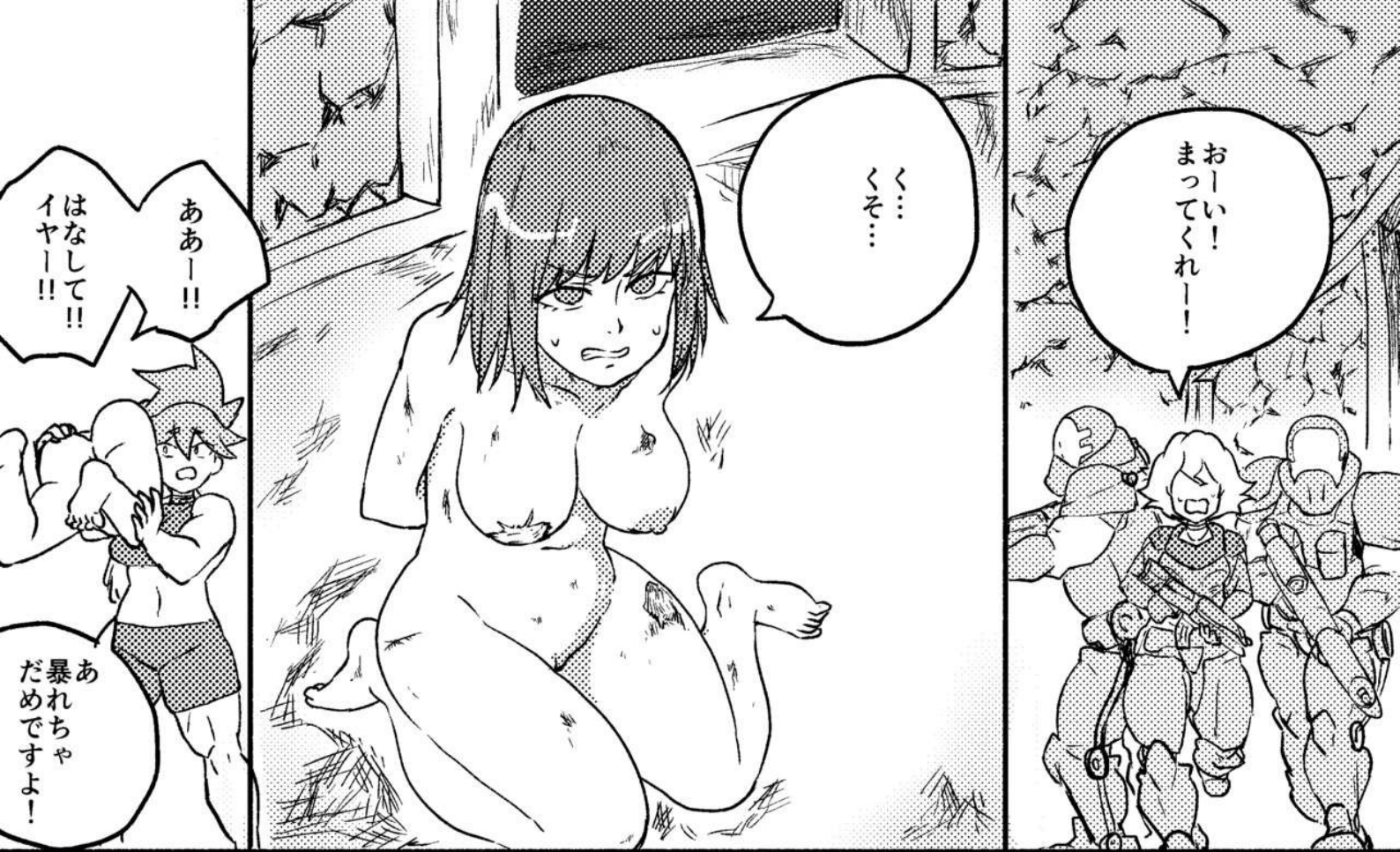


くもの
連中だの

やっぱり
認証タグ
つけてねえな

な、なに…
動けない…

イヤッ

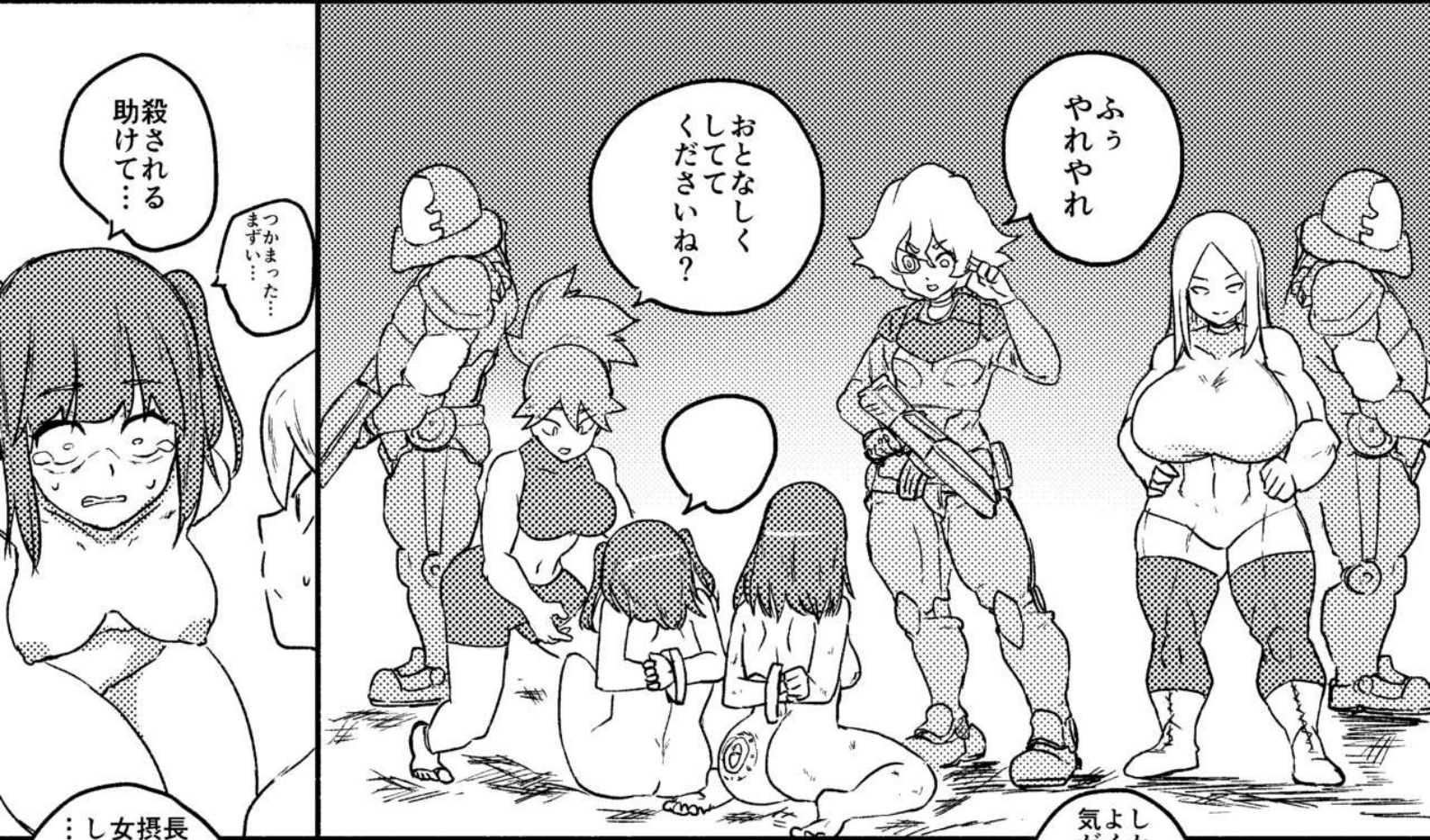


ああー!!
はなして!!
イヤー!!

くそ...
くそ...

おい!!
まってくれ!!

あ
だめ
です
よ!



殺される
助けて...

つかまっ
た...
ますい...

おとなしく
してて
ください
ね?

ふう
やれ
やれ

長期間精液を
摂取していい
女畜の匂い
が...かな?
なんだそれ!!

うーん

センサーにも
反応は
なかつた

しかし
よくし
つらに
気が付いたな

あ?



おかしい…

そろそろ
報告が
来るはず…



きつと何か
あったんだか
助けに
いこう！

ドロシーは
ここにいて！
その方が助けに
なる



兵隊の光や音
を確認して
すぐ横の通路で
退却

発見

ドロシーの向かって
移動するか
それだけの簡単な
作戦…



超強力な
媚薬です

あなたに拳銃など
効きません
から

ぐっ
おおおお!!

あなたのことは
調べました
通常女畜が
見せるような

男性に仕える
事への充足感
をあまり見せず

ドロシー!!

老朽化により
崩落した箇所
新しく
埋めなおした箇所

上手く塞いだり
開けたりして特定の
位置へ誘導しようと
していましたが

限られた時間で
作られた道
少しのほころびが
あつた

現場派の私から
したら
簡単でしたよ

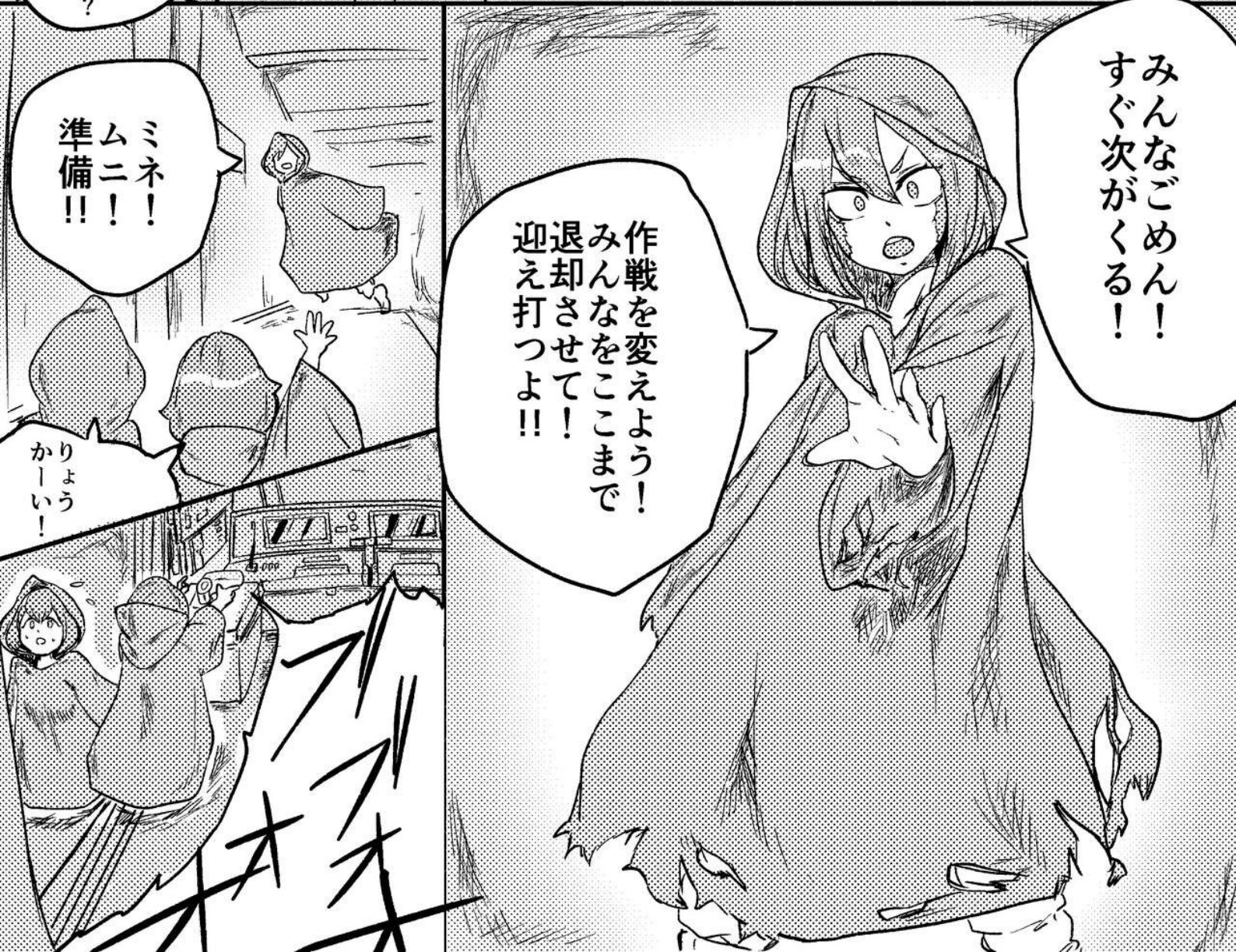
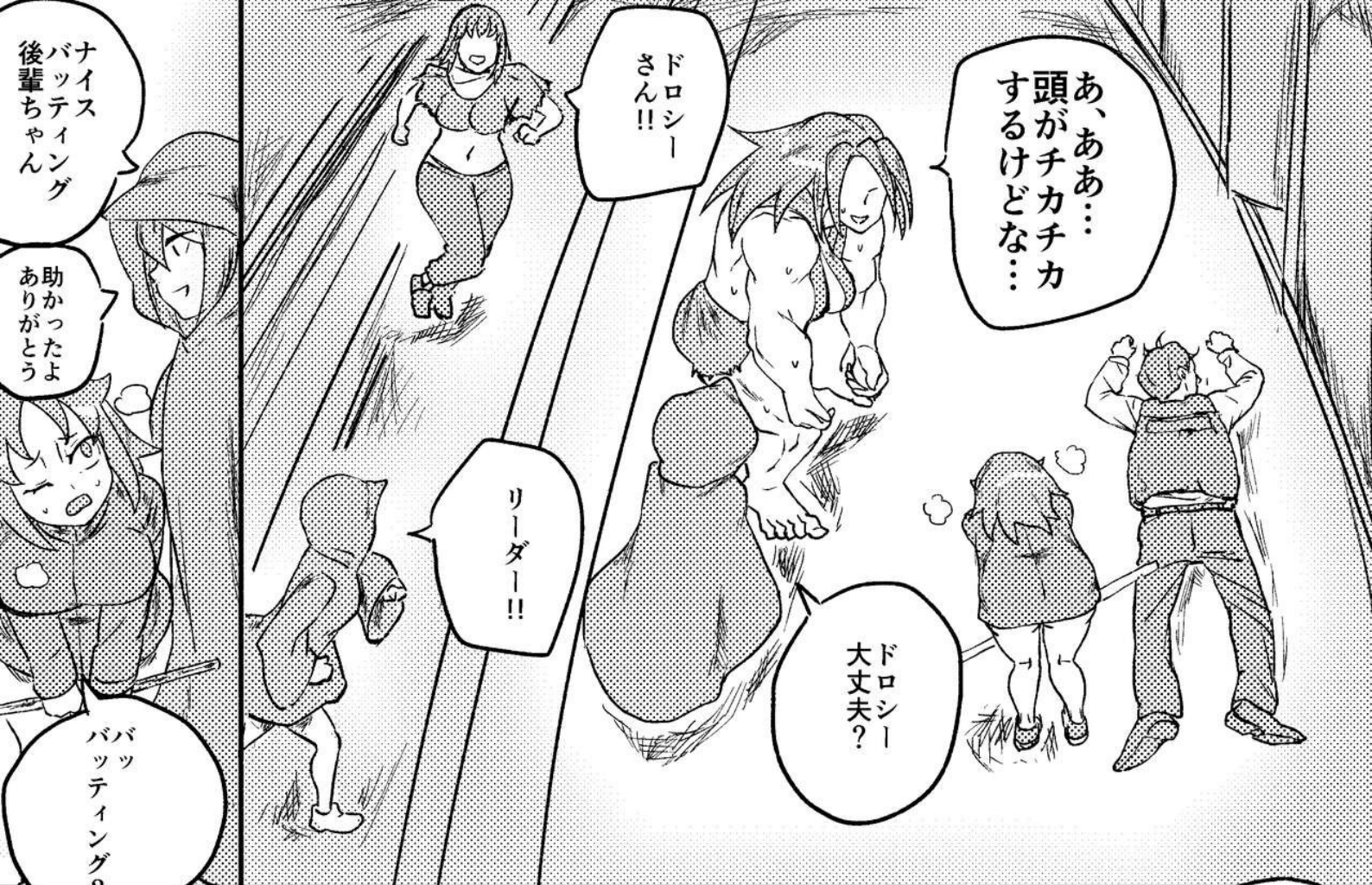
そしてその
物言い

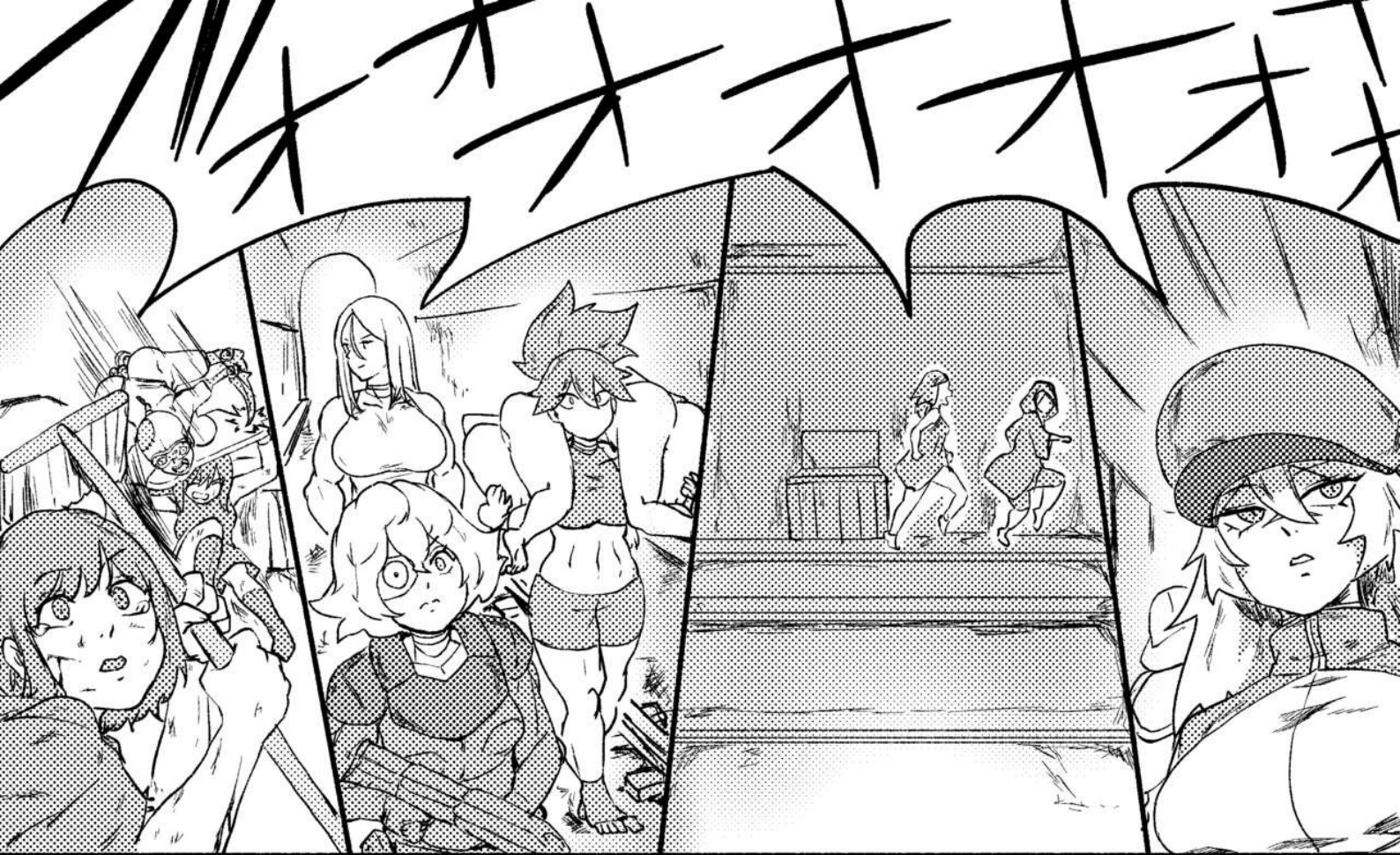
あなたが
蜘蛛の巣の
リーダーですね?

大丈夫です
私は

他の女畜
女性に強い
関心を示して
いたと
あなたの
トレーナーは
あなたが
望んで
います

POLICE





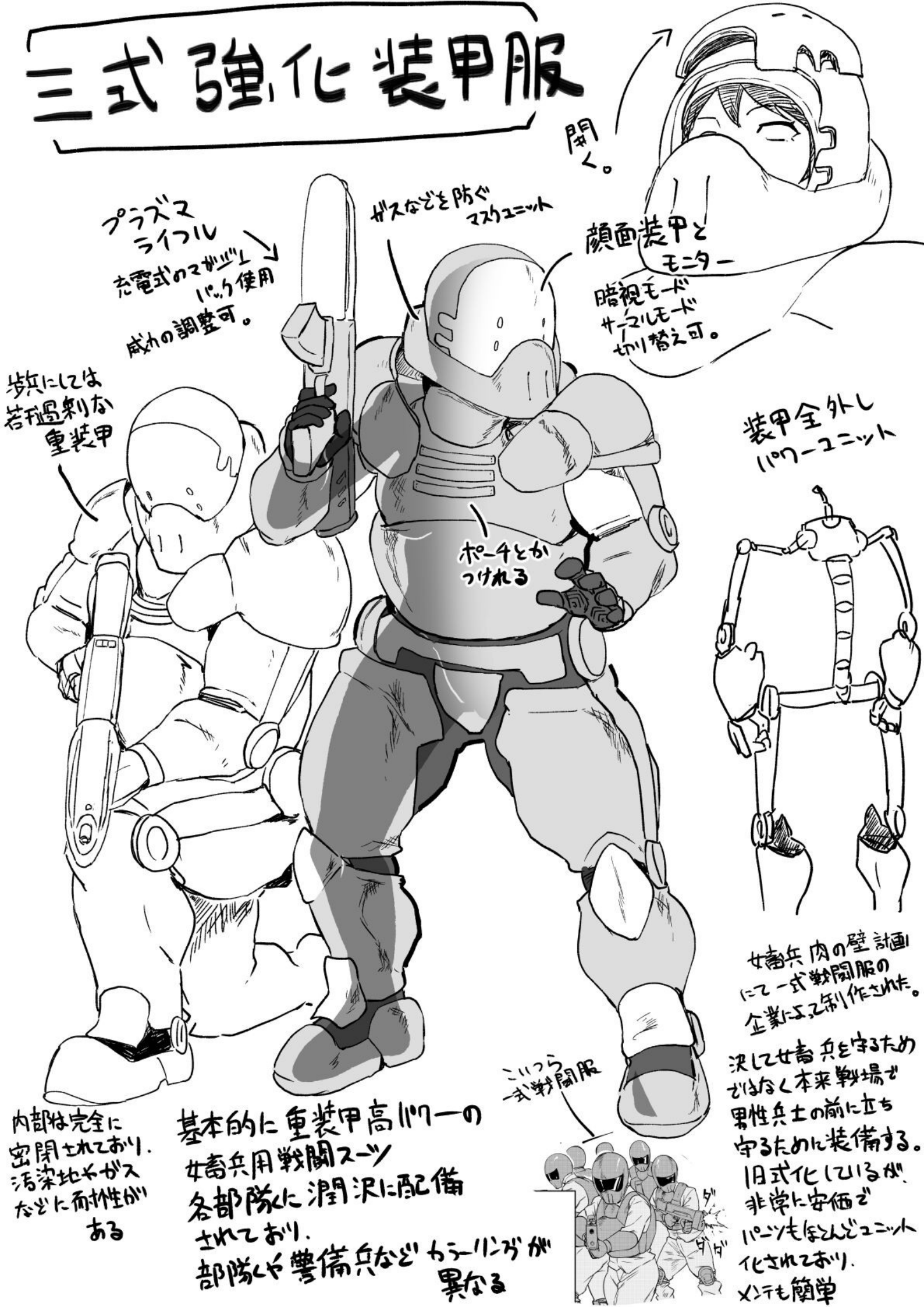
誘いに乗るしかないはず…

来い…っ

逃げもせず
お出迎えとは

ほお？
ほお…

三式強化装甲服



プラス
ライフル
た電式のマガジン
1に使用
威力の調整可。

歩兵には
若干過剰な
重装甲

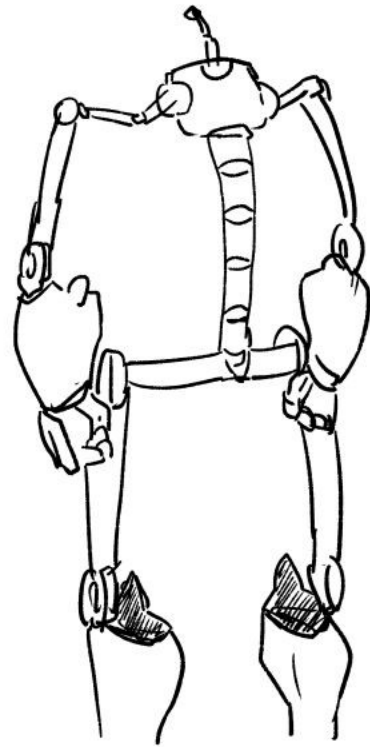
ガスなどを防ぐ
マスクユニット

開く。

顔面装甲と
モニター
暗視モード
サーマルモード
切り替え可。

装甲全外し
117-ユニット

ホークとか
つけれる



女兵士の肉の壁計画
にて一式戦闘服の
企業に依頼制作された。

決して女兵士を守るため
ではなく本来戦場で
男性兵士の前に立ち
守るために装備する。
旧式化しているが
非常に安価で
パーツもほとんどユニット
化されており。
メンテナンスも簡単

117
一式戦闘服



内部は完全に
密閉されており。
汚染地やガス
などに耐性がある

基本的に重装甲高117-の
女兵用戦闘スーツ
各部隊に潤沢に配備
されており。
部隊や警備兵などカラーリングが
異なる

くもの巣 構成員

乙女のような
布をまとって
つた
コート



身体に
大きなキズを
入らすものが
いる個体も
多い



疲れた女畜と呼ばれ
使いはたされ、
心も身体もつかれ
る。
本来廃棄される
はずの女畜。
中には業者に入つた
せず、その身を捨てる
所有者もおり、
はぐれ女畜をうめ出す
社会問題と
なっている。

基本的に裸を嫌い
何か身につけたがる。

30人くらい
いる
←

くもの巣 構成員

30〜40体くらいの女畜の集団

なぜかはぐれ女畜となっても
出頭する個体は多くなく、
自らを捨てた所有者と持っている
可能性はある。

